



What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

INDEX

今号の主な内容

- SRP Open Innovation Lab (SOIL) P1
- エンジニアフレンドリーシティ福岡フェスティバル P5
- ISIT市民講演会「Withコロナ時代のオンラインツール活用」.. P2
- あんしん給食管理VLEDの賞を受賞 P6
- 日本工学アカデミー九州支部講演会【オンライン】を共催 P2
- Open Source Conference 2020開催 P6
- FiaS Monthly Caféオンラインで定期開催中 P3
- 福岡市IoTコンソーシアム(FITCO) WGの紹介 P7
- モノづくりフェアオンライン出展 P3
- EFC賛同企業募集 P7
- 第5回ふくおかAI・IoT祭りin SRP P4
- 賛助会員のご紹介、会員募集 P8

SRP Open Innovation Lab (SOIL) オンラインに対応した改装から半年で、利用者2700名超

令和2年度

ウィズコロナ時代の「新しい生活様式」に対応し、リモート配信用のスタジオとオンラインでも催事が可能なスペースとして、SRP Open Innovation Lab (SOIL) を昨年8月に改装し、半年が経ちました。

この間、ISITが事務局を担うFITCO事業の会議・イベントや、ISITが総務省から運営を受託している自治体向けオープンデータ研修などは、SOILからオンライン配信で開催しています。コロナ禍でも事業を中断せず進捗させるうえで、リモート配信設備は、今や欠くことのできないインフラとなっています。

また、SRP地区の立地企業、地域の産業支援団体や行政関係者の間でも、オンラインセミナーやリモート会議の配信・収録場所として、高品質な対応が可能な設備を備えるSOILの利用が徐々に拡大しており、3密を回避し感染症拡大の防止を図りながらの地域経済活動に貢献しています。

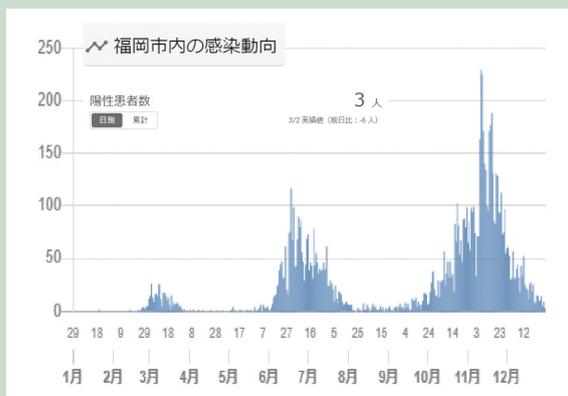
来場者とオンラインによる配信先での利用者を合算すると、改装から約半年間で2700名を超える方々にSOILを活用いただいたこととなります。

このほかISITは引き続き福岡市と協調しながら、テレワーク導入の技術相談窓口=2頁中盤囲み参照、リモート配信体験、Code for Fukuokaと連携したオープンデータ活用による感染動向ポータルサイト=右下図=運営などを継続し、新型コロナウイルス感染症蔓延による社会経済情勢に対応した取り組みを行っています。



SOILスタジオ

飛沫防止ボードを設置、感染症対策を取りながらの動画配信



新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト
<https://stopcovid19.codeforfukuoka.org/>

ISIT 市民講演会 「With コロナ時代のオンラインツール活用」開催

令和3年2月20日

働く人視点でテレワークの初歩的知識やノウハウを学び、Web会議の活用を実践する市民向けの講演会をオンラインで2月20日（土）に開催し、81名が参加しました。

まずISIT前副所長で九州大学名誉教授の村上和彰氏が講演し、テレワークを契機としたデジタル技術やデータ活用の深まりが、労働に関する働き手の価値観にも影響を与えつつある現実を捉え、デジタル変革への対応の重要性と必然性が示されました。

続いてワークショップでは、ISIT吉良幸生の進行により、参加者はZoomを例にビデオ機能やリアクションの機能を使い、一方通行になりがちなWeb会議に双方向性を持たせる工夫を実践しました。また現在フリーキャスターで元RKB毎日放送の納富昌子氏からは、テレビでの経験をもとに、採光や照明機材の工夫による画質管理や動画媒体での自己表現のコツについて、実技を交えた話がありました。

質疑応答や聴講者アンケートでは具体的な活用体験を踏まえての反応も多く、感染症対策から否応なくテレワークやオンライン会議を始める中での戸惑いや、その一方で積極的に新たな技術を身に着けたいという姿勢を感じることができました。



村上和彰氏



ISIT 吉良幸生

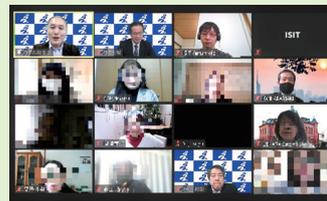


納富昌子氏

■ テレワークに関する緊急相談窓口

<https://www.isit.or.jp/telework/>

ISITでは、テレワークを行いたい、どうしたら良いかわからないという中小企業・小規模事業者向けに、テレワーク導入の技術相談に対応しています。



日本工学アカデミー九州支部講演会【オンライン】を共催

令和3年1月27日

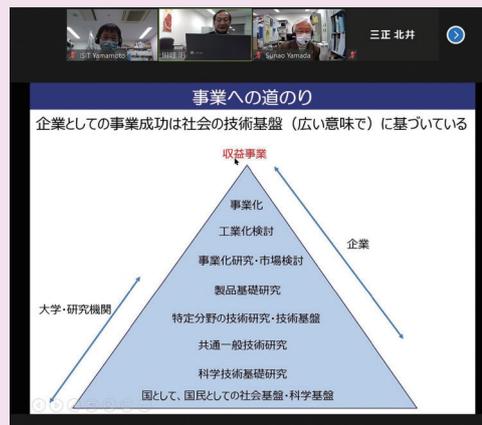
令和3年1月27日（水）、山田淳 研究所長が支部長を務める日本工学アカデミー（EAJ）九州支部主催の講演会「新型コロナウイルス感染拡大に対する高等教育現場の対応と情報通信技術の活用」を開催しました。コロナ禍にある緊急事態宣言の中、支部講演会としては初のオンライン開催としました。

本講演会は、今回のコロナ禍における九州大学の「学びを止めない」ための方針と対応について紹介・議論することを目的に企画したものであり、九州大学の谷口倫一郎氏、島田敬士氏に、下記の演題でご講演いただきました。質疑応答では、オンラインと対面授業の混合実施において、今後、どのように授業体制・新しい価値をつくっていくかや、教育ビッグデータの解析結果による学生の学習への介入の度合い等について活発な意見交換が行われました。テーマの緊急性・重要性に鑑み、今回の講演会はEAJ会員以外の方にも参加いただけるものとして企画・開催しました。参加された方々にとっては、現在も続くコロナ禍における教育・学習などの実施において大変参考となる、貴重な知見を得る機会になったのではないかと思います。

【プログラム】 令和3年1月27日(水曜日) 14時～16時

- 開会挨拶 ISIT 山田 淳 研究所長(EAJ九州支部長)
 - 講演 (1) 「九州大学の新型コロナ対策：学びを止めないために」
九州大学 理事・副学長 谷口倫一郎氏
 - 講演 (2) 「情報通信技術を活用した教育・学習支援」
九州大学大学院 システム情報科学研究院 教授 島田敬士氏
 - 閉会挨拶 URC 理事長、九州大学 名誉教授 安浦寛人氏(EAJ理事)
- 主 催： (公社)日本工学アカデミー(EAJ)九州支部
共 催： (公財)九州先端科学技術研究所(ISIT)、(公財)福岡アジア都市研究所(URC)

福岡市産学連携交流センター（FiaS）では、入居者間の交流や、市民、地場企業、大学関係者などの出会いを促進することを目的として、福岡市、ISIT、九州大学、OPACK、FiaS指定管理者（西鉄ビルマネジメント㈱）と共同で、公開形式の交流会「FiaS Monthly Café」を平成31年1月より開催しております。これまで、およそ月に一回のペースで現地開催してきたところ、この度のコロナ禍の影響から一時中断しておりましたが、令和2年9月よりオンライン形式で再開しております。最近のテーマ・話題提供者は、下記のとおりです。令和3年度も、引き続き企画・開催して参りますので、宜しくお願いいたします。



最近のテーマ・話題提供者

- | | | |
|-----------------|-------------------------|-----------------------------|
| 第11回 令和2年 9月25日 | 神谷 典穂 氏 (九州大学) | 「昆虫によるモノづくりの最近の話題」 |
| 第12回 令和2年10月23日 | 片山 佳樹 氏 (九州大学) | 「免疫の乱れと病気、その治療技術に関するおはなし」 |
| 第13回 令和2年11月27日 | 藤ヶ谷剛彦 氏 (九州大学) | 「ポストコロナの大学教育とラボ運営」 |
| 第14回 令和2年12月18日 | 高原 淳 氏 (九州大学) | 「マイクロプラスチックはどのようにして生じるのか」 |
| 第15回 令和3年 1月22日 | 川畑 明 氏 産学官共創推進室長 (ISIT) | 「豆乳よもやま話 一無菌管理・事業化など豆乳あれこれ」 |
| 第16回 令和3年 2月26日 | 猿橋康一郎 氏 (日産化学株式会社) | 「特許って何だろう？」 |

モノづくりフェア2020 Onlineダイジェストへ出展

令和2年10月～
令和3年1月

ISITは、日刊工業新聞社 西部支社主催のモノづくりフェア2020 Onlineダイジェスト（会期：令和2年10月1日～令和3年1月4日）に出展しました。

例年、マリンメッセ福岡で開催される同展示会ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、初のオンライン開催となりました。

会期中は、ISITマテリアルズ・オープン・ラボや産学官共創推進室の様々な取り組み・イベント情報などを紹介する特設ページを開設・随時更新を行い、興味をもっていた企業に福岡市産学連携交流センター（FiaS）拠点（=写真）を訪問いただくことができました。



◀「出張よろず相談」受付中!▶

例年、会場で受け付けております「出張よろず相談」は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底の上、Web会議システムなどを活用しながら、引き続き受け付けております。

こちらでは、企業等が抱える技術的課題を解決するため、具体的な分析機器の利用に関する相談などに対して、分析による問題解決への取り組み方法（アプローチの仕方）に関する助言、分析結果の解釈やフィードバックなど、課題解決に向けたコンサルティング等を行うほか、分析機器を安全に安心して使用できるよう技術的な指導・助言等も行います。どうぞ、お気軽にご連絡ください（初期相談無料）。

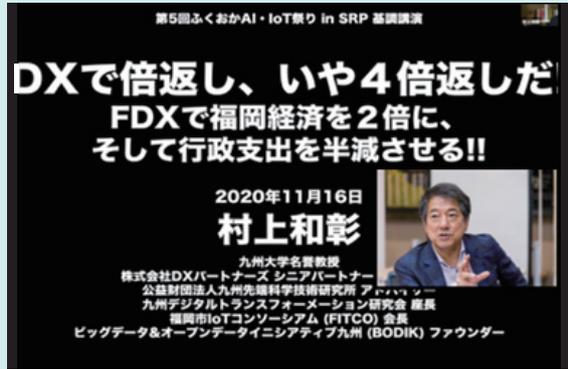
■ よろず相談「分析NEXT」相談窓口

Webサイト <https://next.isit.or.jp/> ✉ bunseki@next-soudan.com ☎ 092-805-3810

今回で第5回目となる「ふくおかAI・IoT祭りin SRP」が福岡市IoTコンソーシアム、福岡市、QUEST、ISIT の主催により開催されました。

テーマ

デジタル変革でつくるニューノーマル ～FDX = ふくおか × デジタル変革～



11月16日からオンラインで5日間にわたって開催した今回のふくおかAI・IoT祭りin SRPは、初めて全てZoomを使ったオンラインセミナー形式で行い、オープニングの山田淳ISIT所長の挨拶は福岡SRPセンタービルにある「SRP Open Innovation Lab(SOIL)」スタジオから発信しました。

5日間の各日にテーマを設定してセミナーをお送りし、延べ1000人を超える参加となりました。イベント終了後にはオンライン交流会も実施し、親睦を深めました。

【各日のテーマ】

- 1日目「進化に向けてのビジョン デジタル変革でつくるニューノーマル」
- 2日目「FITCO 会員の挑戦」
- 3日目「ニューノーマル時代のものづくり教育とは？」
- 4日目「AI for All Kyushu」
- 5日目「福岡市 × デジタル変革」



登壇者の一例

(株)DXパートナーズ、ソフトバンク(株)、NECソリューションイノベータ(株)、富士通(株)、(株)日本総合研究所、コネクシオ(株)、日精(株)、(株)正興電機製作所、PTC ジャパン(株)、(株)Fusic、(有)アイ・ティ・ファクトリー、西部電気工業(株)、(株)ティーネットジャパン、(株)レスターエレクトロニクス、(株)エフェクト、(株)CenterQ、長濱みほ様、(学)コア学園 専門学校 唐津ビジネスカレッジ、福岡市、元 Google 米国本社副社長兼日本法人社長、(公財)ハイパーネットワーク社会研究所、アビスパ福岡(株)、(株)チームAIBOD、(株)ウェーブフロント、ベルズシステム(株)、(株)TACT、ソニー(株)、世界経済フォーラム第4次産業革命日本センター

詳細は <https://www.fitco.jp/event/2020/maturi2020-2/> にも掲載しています。

令和2年12月11日、12日の2日間、オンラインイベント「エンジニアフレンドリーシティ福岡フェスティバル」を開催しました。

本イベントは「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街 福岡」を目指すエンジニアフレンドリーシティ福岡の取り組みとして行ったもので、福岡内外からの登壇者をビデオ会議ツール等で中継し、動画配信を行いました。

テーマ:「New Engineer's Life」

新型コロナウイルスの影響による新しい生活様式が広がる中、エンジニアがテクノロジーで生み出す新しい価値、新しい日常の可能性を提示し、いまエンジニアに必要とされる変化やスキルなどのセッションを通じて、エンジニアの成長を刺激する、ということをテーマにイベントを開催しました。

オンライン配信は2日間で延べ約1200名の方々にご視聴頂きました。



また本イベントの中では「エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード」の表彰式を行いました。

本アワードは、日々知識・技術の習得や技能向上に取り組み、企業や社会等に貢献する福岡のエンジニアの活動をより活発なものとし、またその活動を取り巻く環境を向上させていくことを目的とした表彰で、今回が第2回目となります。

表彰では、福岡のエンジニアコミュニティ文化の発展に貢献する「エンジニアコミュニティ」、およびエンジニアを取り巻く環境の充実に取り組む「企業」を表彰しました。



<受賞者紹介>

◎コミュニティ部門 4団体

Fukuoka.rb LINE Developer Group Q-shu 女子だらけの電子工作 FUKUOKA NIWAKA

◎企業部門 5社

株式会社ヌーラボ 株式会社ヤママップ 株式会社グリーブーツ 株式会社オルターブース GMOペパボ株式会社

受賞者の詳細は下記特設サイトにてご紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://efc.fukuoka.jp/award2020/>

またイベントの一部、表彰式の模様はYouTubeのエンジニアカフェのチャンネルにて現在もお楽しみいただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCWW7DWIPbrs0jQNPyx1wvQw>

ISIT、福岡市及びLINE Fukuoka株式会社（LINE Fukuoka）は、福岡市のオープンデータを活用した実証実験の第一弾として、小学校給食のアレルゲンおよび献立情報を福岡市LINE公式アカウントで受け取れる「あんしん給食管理」サービスを2020年8月20日から提供しています。このたび、この「あんしん給食管理」が一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）の「勝手表彰」において「スポンサー賞（デジタルリスク協議会賞）」を受賞しました（http://www.vled.or.jp/news/2102/210201_001586.php）。



VLEDは、オープンデータやデータ活用の普及促進に貢献した優れた取組みを勝手に選んで勝手に表彰する「勝手表彰」を行っており、2013年度から始まり今年度で8回目となります。

政府は自治体に対してオープンデータとして公開を推奨するデータを「推奨データセット」として定め、民間企業によるオープンデータを活用したサービスの創出に努めています。学校給食献立情報は推奨データセットのひとつです。

今回の受賞は、「あんしん給食管理」が市民にとって有意義でわかりやすい推奨データセットの先進的な活用事例として評価を受けたものです。表彰式で審査委員からは「社会的課題を解決するためにオープンデータを活用した素晴らしい取り組み」、「データを提供する人、データを加工してAPIを作る人、それをユーザーへ届ける人、という役割分担がきれいに出来ていて、今後のオープンデータの取組のモデルの一つになる」との評をいただきました。

ISITは、オープンデータの利活用を促進するためAPI開発を進めており、「BODIK DX API」（ボディック・ディーエックス・エーピーアイ、<https://dx.bodik.jp/services/api/>）として福岡市の小学校給食献立を含む14種類のオープンデータのAPIを公開しています。ISITは今後もオープンデータAPIの整備を進めるとともに、APIを活用した新しいサービスの創出にオープンイノベーションの手法で挑戦し続けます。



オンライン表彰式（令和3年3月5日）の様子

オープンソースの祭典「Open Source Conference 2020」が令和2年11月28日にオンラインで開催され、オープンソースに関する最新情報のセミナーやミーティングのほか、オープンソースコミュニティ等によるオンライン展示が行われました。

ISIT、及びエンジニアフレンドリーシティ福岡事務局は後援として本イベントに福岡のエンジニアコミュニティと一緒に参加し、福岡での活動のPRを行いました。

セッションの一部はYouTubeで公開されていますので是非ご覧下さい。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL1EP7zsqxFT9pA-nGf48ZEJnBQGRvA7Ty>

福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)では会員企業の課題解決・実証に向けたワーキンググループ(WG)の活動支援を行っており、現在5つのWGが活動しています。

そのうちの1つ、「事業共創ものづくりWG」は、「製造業のものづくりの課題解決」をテーマに、2018年10月からメンバー6名でスタートしました。年間6~8回活動を行っており、現在ではメンバーは13名程に増えました。

今年度はコロナ禍の中オンラインによる活動のため、WG会議の回数も10回に増加しています。WGでは企業様6社にご協力いただき、WGメンバー以外の一般の方々も参加可能とした技術セミナーを開催しました。延べ70名以上の方々に参加頂き、IoTなどの知見を広めることができました。

また、聖徳ゼロテック株式会社様、株式会社シーズアース様、株式会社ウェブフロント様のご協力を頂き、「プレス部品の全数保証システム(AI画像検査装置)」の検討も行うことができました。11月に開催された第5回 ふくおかAI・IoT祭り in SRP(オンライン開催)で、この検証の成果発表を行いました。



第1回目WG(2018年10月)の様子

事業共創ものづくりWGでは、製造業のものづくりの課題解決をすべく、検討課題やご相談を募集しております。

FITCO事務局(iot-f@isit.or.jp)へお気軽にお問合せください。

エンジニアフレンドリーシティ福岡 賛同企業募集中

令和2年度

エンジニアフレンドリーシティ福岡事務局では、エンジニアやエンジニアを目指す方の働きやすい環境づくりや成長、交流促進につながる取り組みを行っている福岡の企業・団体・学校等を『賛同企業等』として募集しています。

登録いただいた賛同企業等は、エンジニアフレンドリーシティ福岡のWebサイトで会社ロゴと一緒に主な取り組み内容等をご紹介させていただいています。

※下記の要件を満たせば、登録に費用は必要ありません。

《登録の主な要件》

- 福岡に拠点を置いていること(企業の支店や出張所等でもOKです)
- エンジニアやエンジニアを目指す方にとって、働きやすい環境づくりの構築や、成長・交流の促進につながる取り組みを行っていること
- (例) エンジニアのスキルアップのための研修制度や補助制度の実施、エンジニアコミュニティ支援の取り組み、など

お申込み、登録の手続きの詳細は下記Webサイトをご覧ください。

⇒<https://efc.fukuoka.jp/supporters>



賛助会員《法人・個人》のご紹介

新規賛助会員ご紹介

■一般社団法人 EMoBIA 様

ITS モビリティ技術の開発実装により地域密着型スマートシティ創出を皆様と共に取り組みます。

■TIS 株式会社 九州支社 様

お客様の成長戦略を支えるITブレインとして、「デジタル経営」の進化と深化に貢献します。

■福岡丸本株式会社 様

食品用包装資材の卸売・小売りや、特許取得済み青果物包装機の製造・販売。

■NBC 情報システム株式会社 様

長崎のIT企業です。様々な業種に基盤構築からシステム開発、運用までソリューションを提供。

■株式会社 cielo azul 様

Web制作、Webコンサル、広告代理、アフィリエイト支援を通じてお客様と共に成長します。

■株式会社 グラブ 様

銀錯体とナノテクノロジーで抗菌・抗ウイルス・防汚・防カビ・悪臭等の問題を解決します。

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介（リンク等）

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付等

詳細はこちらまで！ **ISIT総務部**

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22
〈福岡SRPセンタービル5階〉

Fukuoka SRP Center Bldg 5F
2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

■ TEL 092-852-3450 ■ FAX 092-852-3455

■ URL: <https://www.isit.or.jp>

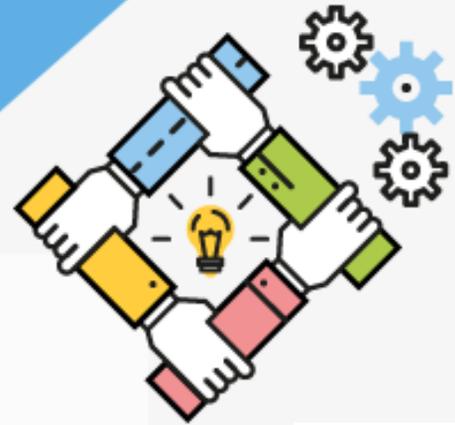
■ 編集: ISIT事業支援部

■ 制作: 株式会社西日本高速印刷



賛助会員入会のご案内

当財団の事業目的に賛同して頂ける方
(企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中



主な特典

1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
3. ホームページで会員紹介(リンク等)
4. その他活動報告書や活動レポートの送付



当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。

産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK事業)
- SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業 (分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細：<https://www.isit.or.jp/project/>



II 産学官連携による新産業・新事業の創出支援事業

受託/共同研究・事業

プロジェクト型研究・事業

I 研究開発事業

定常型研究・事業

V 人材育成事業

III コンサルティング事業

IV 情報収集・提供事業

VI 内外関係機関との交流・協力事業

【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel : 092-852-3450 Fax : 092-852-3455

E-mail : isit-soumu@isit.or.jp

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル5階

賛助会員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 宛

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

年 月 日

ふりがな			
団体名 又は氏名	※法人会員の場合は団体名、個人会員の場合は氏名を正式名称でご記入ください。当研究所のWEBに掲載させていただきます。		
代表者氏名	※個人会員の場合は記載不要		印
住所	〒		
電話番号	※法人会員の場合は代表番号をご記入ください。	FAX番号	
入会理由 ※複数選択可	1. 研究開発内容に関心あり 2. 共同研究/共同提案等の実施等 3. コンサルティング(技術相談等)の活用 4. セミナー・交流会等の活用 5. 情報収集等 6. その他()		
申込口数	※番号に○をつけて、申込み口数をご記入ください。 1. 法人会員 <input type="checkbox"/> (6万円/口) 2. 個人会員 <input type="checkbox"/> (1万円/口)		
メールアドレス	※各種セミナーや講習会などのご案内や賛助会員様への連絡等をお送りする宛先になりますので、必ずご記入ください。		
WebページURL	※当研究所のWEBでのリンク設定を希望されない場合は、□にチェックを入れてください http:// _____ <input type="checkbox"/> 当研究所の賛助会員ページに上記URLをリンクすることに同意しません。		
※団体(法人会員)での申込みの際は以下もご記入ください。			
担当部署名			
担当者名		電話番号	
備考			